

おうちの図工室・美術室

「いのち」探索レポート

対象学年 中学校 1年生

想定時間 1時間

題材の内容（子どもたちへ語りかける言葉の例）

目に見えない「いのち」を探すにはどうすればいいでしょうか。目に見えないなら、触ってみればいいのでしょうか、ククンとおえばいいのでしょうか。

どんな方法で探してもいいので、身の周りで見つけた「いのち」を、クラスメイトや先生たちも見つけられるようにレポートを書いてください。絵でも、文章でもかまいません。あなた以外の人でも「なるほど！たしかにいのちがある！」と思えればOKです。

実際に生きていない物（例えば…鍋などの無機物）でも、あなたが「いのち」を持っていそうだと感じたのなら、それについてのレポートを書いてください。

- レポート用紙はなんでも構いません。
- 絵の具、色鉛筆、マーカーや、クレヨン等、あなたが使いたい道具を使ってください。
- レポートをして気が付いたことや、思ったことなどの感想も書いてくださいね。
- レポートに、1つの「いのち」について書いてもいいですし、複数見つけた「いのち」を書いてかまいません。
- 提出日は〇月〇日の登校日です。でも、早く先生に見てほしい人は、写真にとって、下のアドレスまで添付で提出してください。そのとき、別の用紙に書く文章は打ち込んでくださいね。

ANCS としてのねらい

自己を深める

共感性

深く見つめる

社会への広まり

共感性

自分と他者が感じていることの共通点や相違点があることを踏まえて、相手に自分が感じたことを伝えようとするのは、今後より広い社会で生きていくために必要な力になります。

深く見つめる

生き物か否かに関わらず、すべてのものに命を感じようとするために五感を使うことは、世界の捉え方が広がるきっかけになることを期待します。

三観点

知識・技能

自分が感じたことを言葉、形や色でまとめることができる。

思考・判断・表現

身の周りの形や色、素材から、「いのち」のイメージを持つことができる。

主体的に学習に取り組む態度

他の人に伝わるように、自分が感じたことを伝えようと工夫しようとする。

おうちの図工室・美術室

活動の足あと・子どものことば

ぼくが命を感じる物は「雲」です。

雲にはいろいろな形があります。

ぼつんといるのが好きな雲も、まわりと一緒にいるのが好きな雲もいろいろいます。

たまにぼくたちが知っている姿になって、なにかを伝えたいのかなーと覚ることもあります。

雲が動いてる様子は、引っ越しに似ていて、新しく住むところを探しているみたいです。

風が強い日は忙しそうで、穏やかな日はお父さんのようにのんびりとしています。

ときどきいないときもあって、きまぐれだなーと思います。

いろいろなところが人間に似ていて、まるで家族をみているようにも見えます。

だから「雲」にも命があるのかなと考えました。



〈レポートを書いてみて〉

命がないものに命があるように覚るのは「雲」だけじゃないのかなと思います。物を大事にするのも物に命があるって覚る人がたくさんいるからなのかなと思いました。

身の周りのものも命があるって覚って、大事に使おうかなと思います。

おうちの日工室・美術室